

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2022年 7～9月期の景況 / 2022年 10～12月期の見通

**宇部市内における中小企業の業況は、コスト増の重荷が続いている。**

## 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2022年7～9月期の実績と2022年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より3.3%の回復となった。業種別では、製造業は▲5.3%から▲29.4%へ、サービス業は0.0%から▲4.2%へと悪化、卸売業は▲27.3%から▲9.5%へ、建設業は▲39.3%から▲25.9%へ、小売業は▲22.2%から▲12.5%へと回復した。

来期の新規設備投資については、今期よりも10.2%減少する見込みである。

経営上の問題点については、前期に続き多くの業種で「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」が1位となった。さらには、「従業員の確保難」や「需要の停滞」に関する問題が上位を占めている。

## DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景況変動に係る複数の指数を合成して算出する。

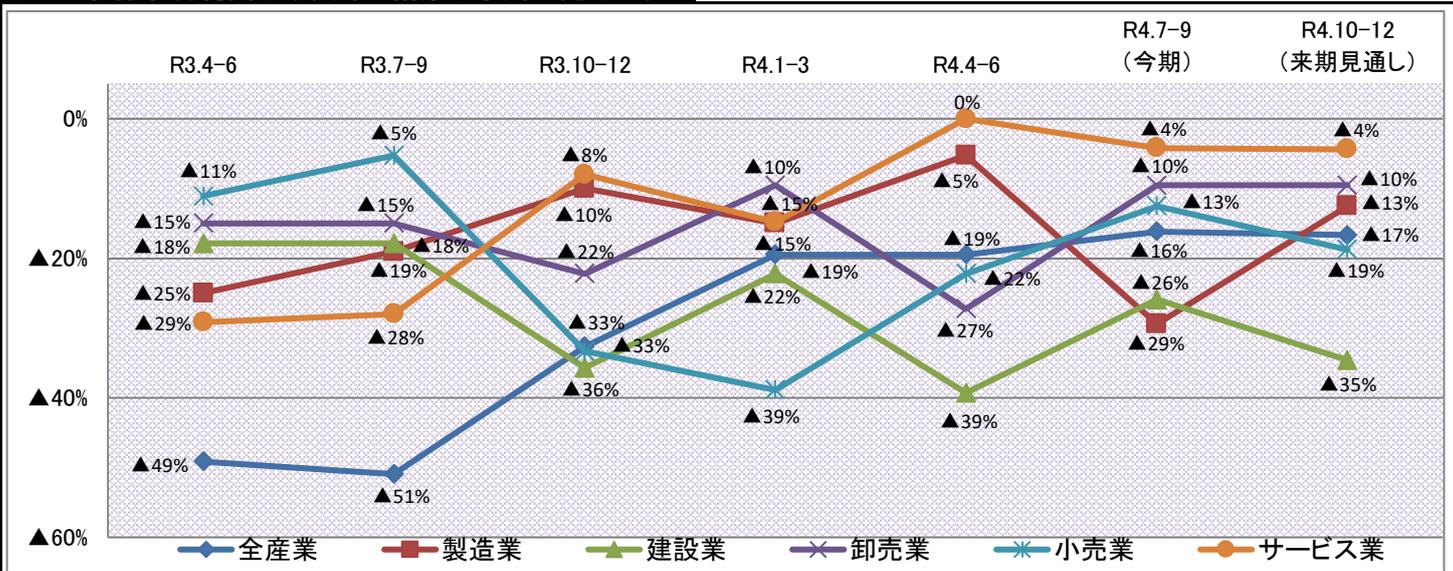
## DATA

- 調査期間: 令和4年9月12日～9月22日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業134社
- 有効回答企業数: 108社(80.6%)

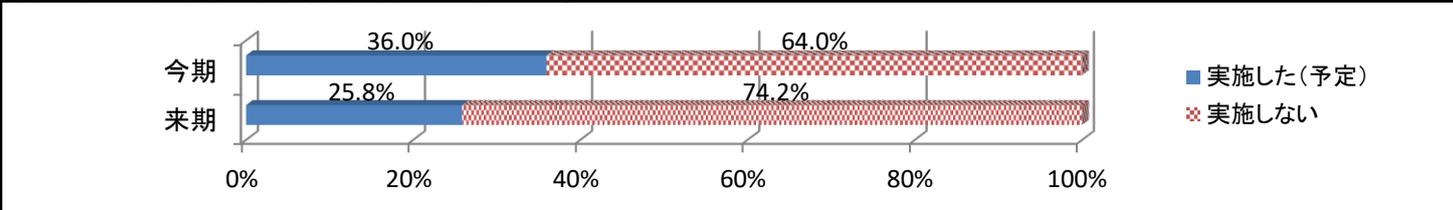
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲16.2%	3.3%	0.9%	14.9%	▲2.8%	6.7%	▲23.6%	3.4%	▲2.9%	▲0.2%
建設業	▲25.9%	13.4%	▲22.2%	24.2%	0.0%	10.7%	▲37.0%	13.0%	0.0%	0.0%
製造業	▲29.4%	▲24.1%	27.8%	22.8%	▲23.5%	▲18.3%	▲41.2%	▲9.6%	▲5.9%	▲5.9%
卸売業	▲9.5%	17.7%	20.0%	38.2%	0.0%	0.0%	▲14.3%	▲1.2%	▲4.8%	▲0.4%
小売業	▲12.5%	9.7%	▲11.8%	▲11.8%	5.9%	26.9%	▲5.9%	20.4%	▲6.3%	▲6.3%
サービス業	▲4.2%	▲4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	▲16.7%	▲5.1%	0.0%	7.7%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	製造業		建設業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	原材料価格の上昇	27.8%	材料価格の上昇	21.1%	仕入単価の上昇	21.1%	仕入単価の上昇	23.4%	従業員の確保難	17.2%
2位	原材料費・人件費以外の経費の増加	13.0%	従業員の確保難	21.1%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	14.0%	消費者ニーズの変化への対応	14.9%	材料等仕入単価の上昇	15.6%
3位	生産設備の不足・老朽化	9.3%	官公需要の停滞	15.5%	従業員の確保難	12.3%	需要の停滞	12.8%	需要の停滞	14.1%
4位	製品(加工)単価の低下・上昇難	9.3%	民間需要の停滞	11.3%	人件費の増加	10.5%	店舗の狭隘・老朽化	8.5%	利用者ニーズの変化への対応	12.5%